

パネリスト

【略歴】

稲野和利氏(日本証券業協会会長)

1976年、東京大学法学部卒業、野村証券入社。2000年、同社専務取締役。2002年、野村アセットマネジメント株式会社取締役社長兼野村ホールディング株式会社取締役。2011年、野村アセットマネジメント株式会社取締役会議長・代表執行役。経済同友会副代表、投資信託協会会長、日本証券アナリスト協会会長を歴任。2013年より現職。

岩間陽一郎氏(日本投資顧問業協会会長)

1967年、東京大学法学部卒業、東京海上火災保険(株)(現東京海上日動火災保険(株))入社。取締役投資部長、常務取締役財務本部長、専務取締役、東京海上アセットマネジメント投信(株)(現東京海上アセットマネジメント(株))代表取締役社長を経て、2010年より現職。金融・資本市場活性化有識者会合、スチュワードシップ・コードおよびコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議、資産運用等に関するワーキング・グループ各委員等。

上村達男氏(早稲田大学法学学術院教授)

1971年、早稲田大学大学院法学研究科博士課程満期退学。北九州大学法学部、専修大学法学部、立教大学法学部を経て、1997年より早稲田大学法学部教授。早稲田大学法学博士。法制審議会会社法制部会委員、東京証券取引所自主規制法人アドバイザリーボード委員、投資者保護基金理事、資生堂社外取締役等。主著に、『会社法改革』岩波書店、2002年、『株式会社はどこへ行くのか』(共著)日本経済新聞社、2007年。

大森泰人氏(第一生命経済研究所顧問)

1981年、東京大学法学部卒業、大蔵省入省。証券局市場改革推進室長、金融庁証券課長、企画課長、復興庁審議官、証券取引等監視委員会事務局長を歴任。2015年より現職。主著に、『金融システムを考える』きんざい、2007年、『霞が関から眺める証券市場の風景』きんざい、2015年。

二上季代司氏(日本証券経済研究所大阪研究所所長)

1975年、大阪市立大学経営学研究科博士課程単位取得退学、日本証券経済研究所大阪研究所入所。2003年、滋賀大学経済学部教授。2015年より現職。大阪市立大学商学博士。主著に、『日本の証券会社経営』東洋経済新報社、1990年、『日本型金融システムの転換』(編著)中央経済社、1994年、『証券市場論』(共著)有斐閣、2011年。